

第6回美里町立小学校適正規模等検討委員会概要録

招集期日	令和3年2月25日(金)
招集場所	美里町コミュニティセンター 2階大ホール
開会閉会	開会 午後3時00分 閉会 午後4時35分
出席委員	委員長 松本 浩 副委員長 鈴木 峯一
	委員 茂木 智孝 委員 山崎 香苗
	委員 関口 典夫 委員 橋本 英和
	委員 関口 勝己 委員 丸山 耕一
	委員 中沢 一剛 委員 清水 奈津子
	委員 小林 健治 委員 堀内 晴美
欠席委員	
説明のために出席した者	教育長 南 幹生 事務局長 丸山 陽一
	主席指導主事 門倉 正人 指導主事兼係長 下田 裕美
	主査 中山 裕紀
傍聴人	4人

次第	顛末	
1 開会	事務局	
2 あいさつ	教育長	<p>緊急事態宣言下であるが、感染防止対策を行った上、検討委員会を実施させていただく。</p> <p>今回は、町内の真ん中に位置する、松久小学校の視察をしていただいた。松久小学校は、他の小学校同様に途中で大規模改修をしているが、小学校3校の中で、建築年数が1972年の一番古い学校である。本日をもって町内3小学校の視察が終わったが、同じ町内でも教育環境が違うことを御理解できたことと思う。</p> <p>また、本日は県内で唯一の義務教育学校である、春日部市立江戸川小中学校の視察報告も行うので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>結びに、毎回お願ひしていることであるが、「将来の美里町を背負って立つ子供達にとって、望ましい学校教育環境は何か」、「その望ましい学校教育環境の中で、どのような教育を進めたら良いか」等の視</p>

		点で検討・協議を進めていただければと思う。
3 前回会議録の署名について	事務局	前回会議録の署名について、事務局より説明する。
	事務局	第5回会議の概要録については、委員から署名をいただき、承認済みなので報告する。
4 議事	事務局	議事の進行については、委員長にお願いする。
	委員長	(1) 町内最後の学校視察ということで、松久小学校を視察させていただいた。せっかく皆様に視察をしていただいたので、感想・質問を出していただければと思う。
	委員	<p>私の子供達が、15～20年ぐらい前に通っていた。その後教育委員で、何回か小学校を見てまわったが、改修してきれいになった所と造ったままの部分が混在していて、古い部分もとてもよく掃除されているが、限界があるという感じではあった。</p> <p>子供達が30人前後の学年がとても多いが、一番望ましい数かと思う。30人前後だとクラスの活気もあるし、男女で15人ずつという感じなので、あのくらいの数でいけたら一番いいのかなと思う。35人を超えて40人近くになると、すごく多いという感じがするし、20人になってしまうと寂しく、授業の発言とかも活気が出ない印象を受けた。</p>
	委員	<p>まず感じたのは、狭さに関してである。教室、グラウンド、また他の施設もそうだったが、目に見えて狭さが、子供達にどのようなストレスを与えているのかが心配されるところがあった。ただ、それを感じさせないように、きめ細かな清掃、整理整頓が上手にされていると感じた。</p>
委員	<p>勝手に大沢小学校が一番古い建物なのかと思っていたが、松久小学校を見たら、大沢小学校より古い。色々な箇所を見て、天井、壁、ドアの下の石の部分など、ちょっとした箇所が古いと思った。</p> <p>1クラスあたりの子供の人数は、大沢小学校と東児玉小学校の間で、東児玉小学校と比べて窮屈さを</p>	

	<p>あまり感じなかったので、やはり30人くらいが理想的なのかと思う。コロナがなければこれが理想と思う。</p> <p>まだ統合するかしないかわからないが、この建物をそのまま使用していくのは厳しいと思った。もしも統合した場合、先ほど帰りに広木へ行ったが、大沢小学校も東児玉小学校も松久小学校も、一番遠い地区は通学が難しいというか危ない。そこを子供達に歩かせるのは危険だと思ったので、やはりスクールバスなどが遠い地区にあれば、親としても安心できるのではないかと思った。</p>
委員	<p>私が感じた印象は、昭和の雰囲気は9割強、平成の匂いが1割弱入り交じった建物で、用具等もかなり古くなっていて、子供達の跳び箱を見ているとかなり心配があった。体育館の扉等も修繕されていないので、早急に対応した方がいいと感じた。天井の老朽化は、一部を直して片方が壊れてしまったとか、点検口が閉まらなかったと聞いたので、かなり傷みが進行していると感じた。</p> <p>良い点は、廊下や壁に教育の良い工夫がされているので、勉強になると感じた。</p>
委員	<p>自分が卒業した学校だが、老朽化も前回の東児玉小学校と床や壁が同じようで、多少の3小学校の年月の誤差はあるだろうが、皆同じで古くなってきていると思った。半世紀、50年というのはすごい年月なんだと思った。</p> <p>私が通った頃はできたてなので、一番環境が良いところで行かせてもらったが、小さい時に色々経験させると一生の価値観に繋がるという。子供達に贅沢ではないが、色々なものを触れさせたいと思った。</p>
委員	<p>人数的に30人前後が一番相応しいという印象を受けている。今度、35人体制という形になるということを知っているが、35人でもちょっと多く、30人くらいが丁度いいのではないか。30人</p>

	<p>ぐらいになると、5・6年生だと大きさからするとちょっと込み入っている。コロナ禍だから余計そう感じるのだと思う。</p> <p>例えば、新しい校舎を建てるのであれば、文部科学省からこの大きさでなければ駄目だと指示があれば仕方がないと思うが、それがなければ大きい教室なんかも考えていけたらいいのではないかと思う。</p> <p>それと、図書室も古い校舎と同じで、本もかなり古い本があった。図書カードを見ると、いっぱい本を読んでいる子がいるが、あれだけ本があって、古い本まで読んでいるのだと思う。やはり、新しい本をみんな読みたいのではないかという印象を受けた。</p>
委員	<p>私は大沢小学校、東兎玉小学校の視察に参加できなかったのだが、今日久しぶりに小学生に会えて、皆楽しそうだと思って見ていた。</p> <p>教室を見て、入っている人数は30人くらいが限度という感じがした。それ以上になると苦しい。国の基準があるということだが、うまい策はないのかと思った。</p> <p>それから、校舎が古かったり、施設が老朽化しているということはあるが、大規模ではなくてちょっとした工夫で、少しは子供達のためになるのかと思ったのが、体育館への通路がコンクリートの打ちっぱなしで、転んだら痛そうとか冷たいと思ったので、ウレタンシートなどを敷くと良いと思った。</p>
委員	<p>空気感で言うと、本校より多くの人数がいて、本校の状況より活気があると感じた。新旧の比較で言うと、古いものを大事に使っていると感じられた。</p> <p>それから、木でできている部分は、多くの所に使われているので、温かみがあって、逆に言うといいなと感じた部分もある。管理の中でご苦労なさっている部分は、安全面で言うと気の抜けない部分もあるのではないかと感じた。大事に使っているというのが本当によく感じられた。</p>

委員	<p>松久小学校だが、まず思ったのは、建物が古いが上手に使っていることと、展示物を通して、アイデアを持って教育活動をしている印象を持った。先生方の創意工夫が、安全面と教育面で感じられて参考にしたいと思う。</p> <p>先程、30人ぐらいの人数で適切ではないかという話があった時に、やはり本校の40人近くの机がある所と比べると、見ただけでもホッとできるところがあるが、唯一学年で2クラスの複数学級を抱えている学校の校長とすると、あのぐらいでクラスが2クラスあると、また良い効果になるのではないかと思った。</p> <p>松久小学校も以前2クラスあって、2クラスを想定した学校の教室ということを考えると、単級よりも複数の学級があるということが望ましいと文部科学省の手引きにあるが、そういうところに迫っていけると理想だと思った。</p>
副委員長	<p>今日で3校全て見させていただいた。今まで話があったように、大沢小学校は人数が少なくてちょっと活気に欠ける。東児玉小学校はそれなりに人数がいて大変活気がある。今日の松久小学校は30人ぐらいで丁度良いという感じを受けた。やはり少ない人数よりは、30人いるクラスの方が活気もあるし、切磋琢磨して競争意識も湧くし良い。少ないと競争意識もなくなってくる。社会というのは、皆競争である。そういった意味では、やはり人数が30人～35人いる方が良いと感じた。</p> <p>それと、松久小学校は施設そのものが新旧混在。トイレなどは少し新しくなったが、体育館に行く所は、廊下の辺りの天井が非常に低い。ちょっと大きい子供はぶつかってしまうような天井であるし、廊下を歩いていて凹凸がある。</p> <p>体育館の器具も大事に使っていて、昔の文部省と書いてある跳び箱などは年代物と感じた。そんなことで子供達もかわいそうだという意識を持った。</p> <p>それから、実験室等の机も非常に古い。ポコポコ</p>

	<p>して、このまま使っていたら子供達が可哀想と感じた。</p> <p>通学路の関係で3校見てきたが、遠くから通う子供達ほど歩道がない。街に行けば歩道があって、子供達は歩けるが、遠くの方こそ歩道が無くて、道路も狭くて、そこを歩いて来なくてはならない。そんなところで祖父母がいる子は、一緒になってついてきて、途中まで送迎する状況がある。そんな状況を考えると、今のままの状況で良いのかと感じたところである。</p>
委員長	<p>子供達が家を出てから、学校で学んで家に帰るまで、どのように守っていくかというのが大人の役割と思う。皆様方の話を総合しても、通学路の問題、統合の問題、そして学校で学ぶ問題、クラス替えやクラスの人数の問題、様々な問題がある。そういったものをこの後の答申の中で含めていかないといけないとなると、難しいと思う次第である。</p> <p>ただ、今回3校見させてもらい、それぞれがそれぞれの状況にあって工夫しているのがよくわかった。それは、校長を始め地域の皆様が子供達のために色々な知恵やあるいは色々な負担を出し合ってくれていると強く思った。</p> <p>最後に、せっかく校長に案内していただいて、色々工夫されている学校経営をお伺いしたいと思うが、本来ならば松久小学校は2クラス並行で造っており、当然1クラスになるとクラス替えが無い。そんな中で、良い意味で子供達にも競争意識を持たせるために校長が苦勞している点はどんなところか、最後に説明をお願いしたい。</p>
委員 (松久小学校長)	<p>単級のクラスだと競争力がなくなるというのが難しいところだが、特に今年は、私が着任以来、コロナ禍で色々な活動が制限される実態がある。</p> <p>今までの活動を見ると、例えば掃除ひとつにとっても、掃除名人みたいなもので、廊下に子供達の写真や名前を貼り出して、学年関係なく上手にできる子を認めていこうとか、あるいは、読書で学校目標</p>

に到達した子は、写真を貼って表彰するとか、そういう形で競争心を煽るような活動をしている。

それが、今年は2か月の休業があったりしてできなかったところがあり、学年単位・クラス単位での競争というのは、副委員長がおっしゃるように、なかなか単級の学校では競争心が芽生えないというのが実態であり、各学年だとあらかじめ「あの子の方が年が上だから」というようなことで対戦しにくい点がある。

縦割り活動の中でも競争心を煽ったりとか、活動の工夫はしているが、なかなか単級のクラスだと難しいし、先生方も学校で統一してやろうという部分はあるが、やはり自分のカラーを出しやすいというところもあるので、隣にクラスがあれば、自分のカラーを出しつつ負けないように頑張ろうということも出てくると思うが、なかなかそういったところも難しいのが現状だと思う。

単級について私は経験しているが、体育主任だった頃は、長縄などで学年関係なく回数を競ったり、少し煽りもしたのだが、そういうものが定着するのは厳しいと感じた。

見ていただいた通り、昭和48年と平成に入ってから耐震工事の2段階の部分が混在している学校なので、子供達が安全・安心な学校生活を送るためには、やはりマメに安全点検や子供達の様子を見て回らなければならないのが現状だが、そういうところも含めて、今の校舎の中で子供達がより良い教育活動を行えるように頑張っていこうと思うので、また今日いただいた意見を参考にしながら今後の教育活動に活かしていきたいと思う。

委員長

(2) 春日部市立江戸川小中学校の視察報告について、事務局の説明を求める。

事務局

令和3年1月19日に春日部市の義務教育学校、江戸川小中学校の視察を行った。今回は、視察面を中心に報告する。

江戸川小中学校は小学校2校、中学校1校を統合

した、県内初の義務教育学校である。1～4年生をジュニア、5～7年生をミドル、8・9年生をハイと3つに分けて位置付け、9年間を見通した発達段階を重視した指導を行っている学校である。どの学年も1クラスの編制である。中学校が建てられていた場所に、ジュニアクラスの校舎を新設している。

元々建てられていた校舎から新校舎に向かう貫通廊下のところに、メモリアルホールが設けられており、旧小中学校の校旗や歴代校長の写真が飾られている。また、各学校の変遷についても年代順にまとめられており、元の学校を大切にしようという様子を伺うことができた。小さいが、校旗の右側に歴代の校長の写真もすべて飾られていた。

ジュニアクラスの新設校舎は平屋建てで、特徴としては、子供達が登校する昇降口とは別に靴箱が設けられていて、教室から直接校庭へ出られるようになっていて、靴は、そこに置いておく形ということである。

手洗い場に関しては、小さな子供が使いやすい高さのものが設置されている。また、ふれあいコーナーというものが併設されていて、広いスペースになっていて備え付けのベンチのようなものが付けられている。休み時間にここで子供達が過ごすことが多いそうである。

児童用のトイレだが、こちらも小さな物が付けられていて、写真左側は多目的トイレになっている。授業参観等で学校を訪れた際に、下の子のオムツ替えシートがあると良いという地域の方々の意見を取り入れ、オムツを替えられるシートや小さな子供が座れるジュニアシートを設置したそうである。

図書室には、畳敷きのスペースがあり、子供達はここでリラックスしながら本を読むことを楽しんでいるそうである。テーブルも少し小さめの物が用意されていて、児童が座りやすいようにしてあるそうである。

普通教室の様子だが、廊下のスペースが広く設け

られていること、また給食着を掛けるフックが教室内に設置されていることで、更に廊下のスペースが広く感じられる。また、写真の右側に扉のようなものが2つあるが、1つは掃除用具が入っている大きなもので、小さな方は、ゴミ箱がその中に設置されていたり、ある教室によってはそこに置き傘が置かれていたりというふうにして活用している。ランチルームも造ってあると話があった。

校庭の様子だが、初めは遊具を置かない予定だったそうだが、小学校段階では遊具が必要であろうという判断で、急遽設置することになったそうである。各学校から持って来るとも考えたようだが、新しい物を準備することになったとの話だった。遊具の下には芝生が植えられていて、安全面に配慮しているという話だった。

教職員の形態だが、5・6年生には、小学校担任が半分、中学校の教員が半分の教科を担当しているそうである。中学校教員の教科について、5・6年生が行う教科については、その年の教職員の配置によって異なっていくそうである。今年度は、理科・英語・体育・音楽・家庭科が中学校教員による授業になっているそうである。中学校の美術・技術は非常勤講師で対応していて、教員職員の定数については、小学校と中学校別々の定員を足して、1つの学校にしている状況のようである。

第2回のところにあったが、小中一貫校と義務教育学校の違いについて校長に聞いたところ、小中一貫校は、中学校教員が小学校で指導をする場合兼務発令というものが必要になるが、義務教育学校では、1つの学校であるということで兼務発令というものがなくなる。また現在、春日部市教育委員会の教育長より、義務教育学校にいる教員は全員小学校と中学校の免許を持つようにと指示が出ているそうである。

続いて通学の範囲について、こちらの学校では全員がスクールバスで通学をしている。バス停まで歩

いていくが、バス停は家から半径300メートルくらいの所に設置されている。バス停については、教育委員会が主導して設置場所を決めたということだった。バスについては2台で対応している。下校時は、下校時間が学年によって違っているので、2・3回バスを出している状況である。

通学の方法についてだが、実はこの学校は、学区内の小学生と学区外の小学生ということで色々な地区から来ているというのが特徴としてあった。学区内の小学生は、スクールバス2台で登校してくるが、学区外の小学生が江戸川小中学校を選んで学校に来る場合は、保護者の送迎又は公共交通機関による通学を行っているそうである。中学生については、全員が自転車で通学をしている。

制服は、7年生と呼ばれる中学生から着用する。小学生の服装は自由だが、体育着は、中学校と同様のものを着ているとのことである。ただ、小学校は自由で良いということにしているので、前の学校の体育着も使用可ということであった。

課題として抱えていることだが、1クラスずつの単学級のため、音楽の教員に関しては、全9クラスを1人の教員が担当していて、時間数の割に評価を全員分しなくてはいけないということで、負担が大きいというようなことがあった。また、小学生に関しては、スクールバスを活用しているために、運動不足が懸念されるということである。

小学生と中学生が一緒にいることによる、中学生側のメリット・デメリットということで話を伺った。良かったところとしては、中学生が穏やかになったという声が多数聞かれているということ、またリーダーとしての範囲が広く、下に8学年いるので、学校を引っ張っていかなくてはならないと考える機会になっていて、良いリーダー性が育っているということだった。教員側としても小さい頃から指導することによって、子供の理解に繋がっているという話もいただいた。

デメリットとしては、どうしても出番が少なくなってしまうことがあるそうである。運動会等のことだが、どう工夫するかが教員側の課題でもあると話をしていただいた。

その他、卒業式について、義務教育学校なので9年間を見通してということで、9学年のみ卒業式を実施することになっているそうである。ただ、昨年度から始まったので、6年生は修了式のみを行う予定ではあったが、職員との話合いの結果、前期修了式ということで、6年生だけは修了証を卒業証書のように入壇で一人ずつ手渡してたそうである。

部活動については、基本的には指導は中学校の教員が行うが、希望によって小学校の教員も指導することができるそうである。

こちらの学校を開校するにあたり準備委員会があり、地域住民の十分な話合いの下に、学校の位置や校舎の内部等を決定していったそうである。

卒業の年度に、体育優良児童・生徒表彰というものがあり、通常小学校で男女1名ずつ、中学校でもそれぞれの学校で男女1名ずつと決まっているが、この学校では、1つの学校という判断で9年生の分しか配当がないという話があったそうである。どうか小学校6年生の方にも出してもらえないか働きかけている状況であるということで、1つのデメリットという話をいただいた。

委員	春日部市立江戸川小中学校は、いつから始まったのか。全部1クラスということだが、人数は何人か。
----	--

事務局	江戸川小中学校は、昨年度より開設されている新設の学校である。今年度の人数は、全校9学年で190名である。
-----	--

委員長	美里町の場合と違って、ここは小学校2校と中学校を合わせて統廃合した。当時私は教育局にいたので様子はわかっているが、地域に1つの学校を残したい。この江戸川小中学校区は、大塚で有名な旧庄和町である。どんどん子供の数が減ってしまって、
-----	--

	<p>今話したように小学校2校と中学校1校を何とかして残したいということから義務教育学校という選択肢を選んだということである。庄和町は春日部市に合併したので、そういうところからも何とか残したいというのがあったのかと思う。当然のことながら新設、そして小規模特認校ということで、その地域の子だけではなくて、来たい子供は来られるような仕組みを設定した。そして、児童数が減らないように工夫をしていったというのが、この学校の特徴だと思う。</p>
委員	<p>学区外から子供達に通っているということだが、前にいただいた資料だと168名だった。今伺った数は190人で、増えていると思ったが、学区外から来ている子供達の数がわかったら教えていただきたい。また、その子供達は、春日部市内が多いのか。もしわかれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>人数としては、学区外から来ている子は、25名である。ただ、どの辺りから来ているかというのはいわかりかねる。</p>
委員	<p>25名の学年はわかるか。それから、25名はなぜ地域外からこの義務教育学校に来たのか、理由はわかるか。</p>
事務局	<p>内訳は、小学校1年生に9名、2年生に1名、3年生に1名、5年生に2名、6年生に4名、7年生に5名、8年生に1名、9年生に2名となっている。理由についてはわかりかねる。</p>
委員長	<p>春日部市教育委員会で、市内の保護者等に、こんな学校ができて、ここは小規模特認校で、学区は指定していないというアナウンスをして集めた部分がある。そうしないと子供達が集まらないので、もっともこの学校が小規模化してしまう。3校合わせても1クラスしかないので、そういう工夫をしているということでご理解いただければと思う。</p>
委員	<p>中学校の場所に建築したということだが、中学校の設置年数はどれぐらいか。老朽化していて古いこ</p>

	とも考えられるが。
委員長	<p>それについては、次回までの宿題でご了解いただければと思う。</p> <p>実際に子供達は、ほとんどがスクールバスで登校しているということで、体力の低下が心配という話もあったが、近くの子供は歩かせているのか。</p>
事務局	歩かずに、スクールバスで来ているようである。
委員長	近い子供もみんなバス通学か。
事務局	はい。
委員長	<p>学年は、ジュニアが1～4年生、ミドルが5～7年生、ハイが8・9年生で3段階に分けているそうです。1つの学校なので、卒業式は最後ということで、途中で修了式を設けている。</p> <p>先生は、中学校の先生が5・6年生から教えている。3学級の中学校だと全ての教科の先生が揃わない。美里中学校は9学級ぐらいあるから10教科の先生が揃うけれども、3学級まで学級数が落ちてしまうと、先生の数約2倍なので、6人ぐらいしかいない。そうすると、教科の先生が揃わない。そこでこの学校が考えたのは、小学校に中学校の免許を持つ先生を置くことで、中学校の教科の授業もやってもらうということを考えた訳である。だから、中学校にとってメリットはかなり大きい。</p> <p>また、小学校の5・6年生も今、算数・理科・英語については、教科担任制を導入していくことを推奨されている。そういう面で中学校の先生が3学級しかないから、数学・理科の時間が少ない。持ち時間が少ないから小学生まで面倒を見ることができるといって、教育的には非常にメリットの部分があると思う。</p>
委員	全員スクールバスで通学するということで、190名。学区外が25名いるから、学区内は165名。バス2台で対応ということだが、どれぐらい時間がかかるのだろうか。1台に何人乗れるのか。そうすると、結構な回数で回らないといけないと思うが、

	どんな感じか。
事務局	まず、人数に関しては、スクールバスを活用するのは小学生のところまでなので、190名よりは少なくなってくるということがある。70名ちょっとの中学生は、自転車で通ってくるので、小学生は100名程がバス2台で通っている。
事務局	バスについては、旧小学校区毎に3ルート設定されているという話なので、合計6ルートある形となる。それを登校時には1回まわす形になる。2台で3ルートずつ受け持つ形となる。下校時は、時間帯が異なるので、3ルートを3便出す形でまわっている。マイクロバスだと思うが、コースをいっぱいまわるといことでカバーしていると聞いている。
委員	結構密になると思う。そういうことは考えているのだろうか。ちょっとその辺を心配したのだが。果たしてまわしていけるのかどうか。
委員長	私は、通勤の最中に本庄第一、本庄東や正智深谷等のバスを見るが、学生は目一杯乗っている。高校生のバスは、ほとんど目一杯だが、それでもコロナ感染が出ていないということは、きちんとマスクをしてしゃべらせないとか、工夫をしていると思う。 3校を維持していくお金、それを1校にしてバスを使ったお金の関係とかは言っていなかったか。その辺りのお金はトントンなのか、それとも今の方が安いのか。
事務局	今の維持する費用との比較までは、正確に聞いてきていない部分があるが、スクールバスの運行に関しては、平成31年度から5年の契約をしていて、今年度の予算については、1,610万円と伺っている。
委員長	私が記憶している限りでは、1校を管理運営していくのに、電気・水道、校舎の維持管理やそういったもので、おそらく4千万円～5千万円はかかるのではないかと思う。そういう点では今の話で、コスト的にダウンしているという感じはする。バス代が

	追加されても、市の財政に負担はかかってないのだろうという感じはした。
委員	小規模特認校という言葉が出ているが、これは義務教育学校だからできるのか、あるいは小中一貫校だからできるのか、あるいは単に生徒数によって決まっているのか、その辺りがわかる方がいれば教えていただきたい。
教育長	おそらく小規模特認校については、小中一貫校だからとか義務教育学校だからではなく、あくまでも市町教育委員会から埼玉県に申請をして認められた所と私は理解している。例えば、このほかにも松伏町も1校、特認校を申請しているところがある。
委員長	学校の特色を出したい、特に小規模ならではの特色を出したいということで、この小規模特定認可校という特認校になる訳だが、多いのは不登校や、そういった課題を抱えている子供を預かるという場合が多い。それから、自然に親しむということをメインに打ち出して、体験型でいっぱい経験させるということで、この特認校を申請する学校、教育委員会があるようである。
委員	人数でどうのという基準ではなく、特色なのか。
委員長	特に人数はあまり関係ない。
委員長	皆様に色々な視点から検討いただく訳だが、もしということで、この前も通学が心配というご意見が出されて、教育委員会でもスクールバスについて調べてきてくれた。 (3) スクールバスの費用について、事務局の説明を求める。
事務局	【資料 1-1】 美里町全図 【資料 1-2】 バス運行費用想定 【資料 1-1】 は、美里町の全図を縮小して載せたものになるが、この中の赤いポイントが4点あり、これが各小中学校の位置を示している。また、赤・

黄・青の3色は、各小学校の地域で色を付けている。

緑色の円は、美里中学校を仮に中心とした半径2.12kmの円である。中途半端な数字ではあるが、正方形の各辺1.5kmの対角線が約2.12kmとなるので、およその通学距離3kmを想定した円となっている。実際の通学距離というのは、通学路を詳細に確認して計算しなければならないが、今回バスの費用を想定する中で、最大限バスを走らせる条件で、目安として線を引いた。議論の中や国の基準より狭い円になっているが、予めご了承いただければと思う。

この図を踏まえて【資料1-2】のバス運行費用想定をご覧いただきたいと思う。こちらで引かせていただいた、3km程度の円の外側から通う児童が乗車することを仮に想定した。もちろん、学校の位置とか、どういった児童を対象にするかとか、何も決まっていない状況だが、ある程度仮定をしないとバスの費用は出ないので、今回、美里中学校付近を中心点として円の外から通う児童を想定し、業者に見積りを依頼したところである。

まず、上の東児玉地区だが、円の外の北部の児童や東部の関付近の子供が一旦東児玉小学校に集まり、そこから大型バスで2往復することを想定した。対象児童数がある程度多いことが想定される中で、大型バスでも1回ではちょっと送りきれないことを想定し、2往復という形で計算した。下校時については、先程の江戸川小中学校でもそういった話が出たが、学年により下校時間が異なるので、ある程度時間帯をずらして2便ずつ計4便という形の想定をした。

松久・大沢地区については、東児玉地区と比べてエリアは広いが、対象人数が少ないと思われるので、中型バスを想定した。こちらは、通学区域がかなり点在していることが想定される中で、本来1回で周ればよいと思うが、時間等を勘案して、中型バス2台で2コース周る仮の想定をしている。

地図の色を見てわかると思うが、青い部分、大沢小学校の学区は円から外れる部分が大多数と想定されるので、大沢小学校の辺りや白石、円良田を経由することを考えた。

また、先程の視察の帰りに行った、この地図だと赤い松久小学校の区域の左下の部分、大部分がゴルフ場になるが、その入口辺りが先程行った広木地区の粉木の辺りになる。ここも通学距離がだいぶあると想定されるので、今回の前提条件として、その辺りもフォローする計画を立てた。

そういった想定の中で、業者に見積りを依頼したところ、1日あたりの参考見積額が出て、東児玉の大型バスを使用するものが1日あたり107,000円、松久・大沢地区が中型バス2台で186,000円という想定となった。

こちらについて、年間の日数として、令和3年度にバスを使うという仮定だと、204日が想定されるので、仮にそれを掛けた額が、下に表示されている額である。これについては、想定される中の最大値の金額で出した部分であり、先程話した江戸川小中学校の金額と比べてもかなり高額となる。これは、実際にもし委託することになれば、競争原理の下にかなりの減額があることが予想されるので、こちらはあくまで最大値という意味合いで捉えていただければと思う。

合計で約5,900万円ということで、実際はそこまでいかないかと思うが、参考として示している。もちろんバスについては、もっと児童に歩かせた方が良いとか、そういった議論が当然あると思う。今回は、そういったことを踏まえながらも、北部と南部で2パターン示しており、その組み合わせ等で色々想定できると思うので、今回たたき台として示させていただいた。

委員長

先程、江戸川小中学校の小学校の学年にあたる児童は、全部スクールバスで対応していると話があったが、今回、教育委員会で試算を出すにあたっては、

	<p>通学距離が3 km以上をカバーすることを前提に試算をしたということである。文部科学省では、概ね4 kmと言っているので、教育委員会事務局で作ったのは、かなり子供達に優しい、配慮した形でスクールバスを運用したら、どのくらい掛かるかと試算をしてくれた。南コース、北コース合わせて1年間で約6千万円という数字である。これは、相見積もりを取って競争させれば、もっと下がるであろうということも付け加えて説明があった。だいぶ具体的に色々な数字が見えてきたのではないかと思う。</p> <p>これは、あくまでも情報の提供ということでご理解をいただきたいと思う。</p>
委員長	<p>(4) 保護者アンケートについて、事務局の説明を求める。</p>
事務局	<p>今事務局で、来年度に適正規模・適正配置等に関する保護者アンケートを実施することを検討している。もちろん、予算の議決が前提となるところで、確定ではないが、実施時期についてどういった形をとれば良いか考えているところで、2つの案を検討中である。</p> <p>1つ目については、この検討委員会でいつ答申が出るのかは議論の流れとなるが、来年度を目途として答申を出していただきたいとこちらでは考えている。答申の前にアンケートを実施して、そのアンケート結果を踏まえた上で、この検討委員会で答申を作っていくのが1つの案である。</p> <p>もう1つの案は、この検討委員会の中で、今までの議論の流れの中で答申をしていただき、それとは別にアンケートを実施して、その2つの意見を総合して町が判断する。</p> <p>その2案について、委員の皆様の率直な意見を聞ければと思い、提案させていただく。</p>
委員長	<p>事務局としては、保護者のアンケートを取ってきたいと。このアンケートを取るにあたっては、答申の前に取るか、答申を出した後に取るかという時</p>

	<p>期の問題がある。どちらもそれなりのメリット・デメリットがあるのかと思う。まず、答申の前にアンケートを取るということは、保護者は色々な情報を知り得た上でアンケートに答えられるのかどうか。例えば、児童数の推移、通学距離の問題や校舎の耐久年数を知った上でアンケートに答えられないという心配がある。</p> <p>逆にアンケートを答申後に出した場合は、そういった情報は答申の資料の中に含まれるので、わかりやすくはなるが、答申に流されはしないかという心配もある。</p> <p>また、我々は委員としてずっと検討してきた訳だが、アンケートを先にとった場合、我々の答申が逆に左右されはしないか。我々は、10年先、20年先を考えてやっている訳だが、そういったもの以外に左右されはしないか心配もある。</p> <p>答申の前にやるか、答申の後にやるか、というアンケートの時期の問題だが、3人のPTA会長は、保護者の立場から、こういうものが配られたとしたらどうか。会長であり委員である皆様の声をまず聞かせていただきたいと思う。</p>
委員	<p>びっくりすると思う。答申が出て、煮詰めたものをある程度出してからが良いと思うが、一概には言えないと思う。難しいが、ある程度柱を決めてからが良いと思う。</p>
委員長	<p>突然だとびっくりするが、きっちり資料も付けてアンケートを取るのであれば良いということか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員	<p>何も資料が無く突然アンケートに答えるとしたら、やっぱり戸惑うし、こうして話し合っていて知っているから答えられるというのがあるので、そういう資料がある程度ないと判断しかねる。資料があった上でのアンケートの方がいいかと思う。</p> <p>最初この会議に出た時は、何もわからない状態でやっていたので、個々の小学校を残せばと思って</p>

	<p>いたのもあったが、資料を得て考えが変わっている部分もあるので、やはり資料があった上でのアンケートの方がいいのかと思う。</p>
委員	<p>6回の会議で皆様が協議してきている。ここで答申に持って行く前にアンケートとなると、振り出しに戻らと思う。もう6回の実績を踏まえて、大変だろうが経緯をまとめて、子供のため、そして美里町の将来のため、ここに子供を持っている家庭がいっぱい入って来て欲しい。魅力ある町なんだということを前に出しつつ、その方が良いような気がする。ここでアンケートを出すのは、順番が違う気がする。</p>
委員	<p>もし保護者にアンケートが来たら、私達の回答で何か変わることはあるのか、それとも、結論が決まっていって一応聞かされただけなのか、考えると思う。</p> <p>このアンケートによって変わることもあるとか、答申とアンケートは別々でこれから2つをまとめるとか、あるいはアンケートを基に答申がある等、アンケートの位置付けを教えてあげた方が答えやすいかもしれない。</p> <p>「保護者の立場と美里町の将来のことも思ってアンケートに答えてください」とまでは言わないが、どの位置付けで答えたらいいか迷うと思うので、アンケートの位置付けを教えてあげた方がいいと思う。</p>
委員	<p>アンケートなので、わかりやすい説明が付いているのは当然のことだろうし、それに関してわからないことは答えなくていいような気はする。</p> <p>アンケートはアンケート、この会はこの会と、独立性がないと、この会が持っている意味が全く生じないと思う。全部共有してしまうのも良いと思うが、これだけ時間を費やしているのだから、これはこれでしっかり答申すべきかと思う。</p>
委員	<p>私も、答申を出すということが一番だと思う。アンケートはアンケートで参考として、わかりやすい</p>

	<p>アンケートを出して、回答をもらって、答申はこういう答申でいくんだよというような形でやっていったほうが良いのではないかと、私としては思う。</p>
委員	<p>突然、アンケートという話は非常に乱暴だと私は思う。ここに、アンケートをやる趣旨、対象、内容だとか、それをどう使うというペーパーすらない。それでアンケートをやろうというのは、私はおかしいと思う。もう少しそのところは詰めて、ペーパーを出して、ここで諮るべきだと思う。こういう企画だということを、事務局が提案して答申の前と後の2種類作ったらどうか。アンケートというのは、そのくらい重要なステップである。簡単に考えると大変なことになるので、事務局には再考を求めたいと思う。</p>
副委員長	<p>私もほとんど皆様がおっしゃったことと同じ意見。何も無い中でアンケートを取ると、どうしても自分の地域優先というか、そこに固執してしまう。そうするとどうにもならなくなる。そういうことであれば、ここで会議した意味が無くなってしまいうということもある。</p> <p>ここに委員は、ちゃんとメリット・デメリットを理解した上で、この方向へいきましょうということ答申を出すので、その過程を説明した上でアンケートを取る。それで、是非を問うことが大事かと思う。</p> <p>何も無いままで出されたら、答えは、「私は大沢地区だから駄目だよ」とか「私は松久地区だから駄目だよ」とかになってしまう。本当に子供達のことを考えてやるんだと。美里町なんだから、そういう地域とかは関係ない。そういう大きな目で考えていただかないと駄目。</p> <p>そういう意味では、ここで話し合ったことを踏まえた上で、アンケートを取る。答申には盛り込まれないが、それはそれで意義があると思う。</p>

委員長	<p>今、町内出身の委員さん方の意見をいただいた。</p> <p>この委員会は諮問に基づいて、きちっと答申を出していけば良いのだと。美里町の10年後、20年後、子供達の教育、そして保護者にとっても良い、そういう環境を整えていく答申を出すためにやっていくのであるから、まずこれはこれでやっていくということになる。</p> <p>先程委員から、このアンケートは何のためにやるのか、この後もしやるのであれば、目的もはっきりとさせなければならないと話があった。やるのであれば、保護者の皆様が驚かないように、しっかりした準備をして、資料を付けて、わかりやすくやるべきだろうということが、会の総意だと思うので、事務局に理解いただきたい。</p>
委員長	(5) その他について事務局から説明を求める。
事務局	<p>その他の部分で、2点語りたいことと報告したいことがある。前回の会議の中で、PTAの会長さんから質問のあった、委員の改選についてである</p> <p>こちらについては、第1回で示させていただいた、美里町立小学校適正規模等検討委員会設置要綱の第3条第2項に記載があり、会の構成メンバーとして、(1)学識を有する者、(2)各小学校校長、(3)区長代表、(4)各小学校PTA代表、(5)その他教育委員会が必要と認める者と記載があり、この中で明確に示されているのは、各小学校校長と区長代表になるので、この2つの職の方々については、交代されたら、残念ながらこの委員会でも交代していただかなくてはならないという解釈になる。</p> <p>各小学校のPTAについては、会長と限定しておらず、各小学校のPTA代表という記載になっている。PTAの中で代表を選出していただいているという意味であり、今はその中で各会長に出席していただいている形となる。今の3名の委員さんがPTAという団体に所属している限り、役員であろうがなかろうが、その中で代表として継続して委員になって</p>

	<p>いただくことは可能と考える。</p> <p>事務局としてはもちろん、経緯を知っていただいて、今まで議論に参加いただいた3名がそのまま継続して委員になっていただくことがありがたいと考えているが、実際どうされるかという部分については、継続も可能、交代も可能という形で捉えているので、PTAの中で相談いただいて、来年度以降の代表を選出していただきたい。</p> <p>もう1つ、次回の日程調整だが、今年度に関しては年度末ということもあり、今回の第6回が最終とさせていただきたい。</p> <p>次回第7回は、年を明けて新しい委員さん方が決まる頃に仮で想定しているのが、5月7日（金）である。事務局もメンバーがどうなるか、行事がどうなるか想定できない部分があるので、仮で設定させていただき、新たな委員さんを確認して、正式に4月には決定させていただき、通知させていただく。状況により金曜日を軸にして前後するかもしれないが、5月7日で事務局を含めて問題がなければ、その日でいきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>年度が変わって、令和3年5月7日（金）。だいぶ先の話となるが、今、事務局の説明だと、学識経験者はそのままで大丈夫。PTAも代表ということであれば継続は可能。区長が2年という任期で、3月に2年が終わる方と残りの方がいると聞いたが、そのところが交代ということがあるかもしれない。校長も人事異動で交代があるかもしれない。</p>
<p>委員</p>	<p>前回、私達PTAは任期があって、バラバラに辞めるといかなものか、みんな時期を合わせてと言っていたと思うが、今の説明だと、まだ我々子供がいるので、PTAという括りには入っている。そうすると、続けても良いし辞めても良いよということを行っていると思うが、そこでどうするかという判断基準として、この委員会がどのような感じで当面進むかということ、わかる範囲で聞かせていただきたい。もうちょっと委員会に残りたいと思うか、</p>

	<p>バトンタッチと思うかは、こちらに一任ということで、今後の見通しをもうちょっと聞かせてもらえればと思う。</p>
事務局	<p>この会議について、回数というのは明確には、区切っていないというのを最初に示している。</p>
委員	<p>内容を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>6回の会議の中で議論をしていただいたということがあります、皆様の中での方向性はある程度は固まっているのではないかと思います。</p> <p>来年度は、答申に向けてというのがメインのステップになると思う。今、議論いただいた中で、アンケートが独立ということで、その内容の相談をさせていただくことはあるかもしれないが、基本的には、6回の会議を踏まえて、来年度は答申に向けてこういった内容を盛り込んでいくか、そういったものが中心になると考えている。</p>
委員長	<p>答申に向けた作業ということで、これまでのまとめとなるので、できたら今の委員さんに本当は残っていただきたいというのが私の気持ちだが、色々な事情があると思う。あとは、事務局がいかに上手く皆様の意見がまとまるようにできるかということで考えているが、視点さえしっかり持てば、その視点から答申に理由をつけていけば良い訳なので、あと2回か3回で何とかなると私自身は想定しているが、教育長はいかがか。</p>
教育長	<p>今、事務局から話をさせていただいたが、令和3年の最後まで引っ張るつもりは全然ない。今まで検討・協議した中で、答申を出していただく方向性でやっていただければありがたい。先程、事務局が言ったが、もしその中で、答申は答申で出すとしても、アンケートについてこんな内容でどうかと、皆様のお知恵をお借りしたいという場面もあるかもしれない。令和3年の最後までは考えてなくて、令和3年度中には方向性を出したいと思っているし、もう1点、私からお願いすることは、PTAの代表の方</p>

		3人に残っていただきたいというのが私の気持ちである。ただ、家庭の都合や色々なことがあって、チェンジされるのは仕方がないと思うが、せっかくここまで検討・協議を進めてきた委員の皆様なので、残っていただければありがたい。
	委員	他の2人に相談して決めたいと思う。
	委員長	<p>P T A代表という立場で、この委員会に出られていて、3人は同じような立場だと思うので、ご相談いただきたいと思う。</p> <p>一応5月7日、その時には、答申の視点はこんなでどうでしょうかと、私の方が少し示したいと思う。そしてその視点から答申を詰めていこうという形に持っていければと思う。2か月ちょっとあるので、何とかできると思うので、そんなふうに進めたいと思う。そうすればそんなに時間はかからない。あとは、それを裏付ける資料等が不足する場合は、また教育委員会事務局にお世話になりたいと思う。</p> <p>ここまでで議事がすべて終了したということで、進行を事務局にお返ししたい。</p>
4	連絡事項	事務局
5	閉会	

上記は会議のてん末を記したもので内容に相違ないことを証するため署名する。

令和3年 月 日

委 員 _____

令和3年 月 日

委 員 _____